



* 授業を大切にしよう *

今年度が始まってから1週間ほど経ちました。やはり学年があがると勉強も大変だ、と感じている人、まだ思ったほど大変ではないな、と感じている人、両方いると思います。

さて、もう聞き飽きた人もいるかも知れませんが、4月のこの時期だからこそ強調しておきたい言葉があります。上にも書きましたが、「**授業を大切に**」ということです。

高校3年生の人たちは、大学受験をかなりリアルなものとして感じています。例えば中学3年生の人にとっては、まだまだ遠い未来の話だと思えますので、まずは、この時期の高校3年生の様子をお伝えします。

* やることは多く、時間は少ない *

高校3年生の人たちは、昨年度の最後の三者面談で、志望校に向けて何をするか、ということを決め、春休みにそれを実行しています。春合宿でも、応援に駆けつけてくださった卒業生から大学の様子を聞いたり、受験勉強のアドバイスを受けてモチベーションを高めたり、いよいよ本格的になった受験対策の演習授業で気持ちを引き締めたりと、受験モードでこの始業式を迎えました。

高校3年生は最高学年ということもあり、様々な面で学校を引っ張っていきます。もうすぐ体育祭に向けた準備も活発になりますから、そちらにも力を入れていきます。部活に入っている人は、大会が近づいていたり、発表があったりと、こちらも気を抜くわけにはいきません。

そんな状況の中でも、目標に向かって日々学習を進めていかななくてはならないのが、高校3年生です。

とはいっても、高校3年生になってから頑張ればどうにかなる、というものでもありません。むしろ、これだけ忙しくなるのだから、今のうちから頑張っておこう、というふうに考えてください。部活や習い事で、すでにパンクしそうなくらい忙しい下級生もたくさんいると思います。

* どうやって時間を生み出すか *

さて、忙しいのは仕方ないので、その中でどうにかして時間を生み出さなくてはなりません。そう考えたとき、最も勉強に向いている時間、それが**授業中**です。

* 具体的にはどうするの? *

と、いうことで、やっと本題に入ります。1日の大半を学校で過ごす皆さんが、さらにその大半を費やすのが授業です。この授業時間をあろそかにすることは、時間的な効率から考えてもとてもロスが大きいです。そこで、「**授業中に頭を働かせ、勉強をする**」という意識を強くもってください。

ただ単にノートを書き写していてもあまり頭は働いていません。例えば数学の話をする時、黒板で先生が計算をしているときに、黒板に書かれた計算式を写すことは、テストの練習にはなっていない、ということです。手も足も出ない状態であれば、先生の書くことを理解することを最優先にするのが正解ですが、大体分かっている、というときには、授業中にテスト勉強を始めるくらいの感じでどンドン頭を使って手を動かしていくのが、時間を有効に使う秘訣です。

< point >

~授業の受け方~

- ① 理解が追いついていないときは、必死に理解する。分からないところをメモしたり、教科書に印をつけたりして、授業後に先生に質問に行く。
- ② 理解ができているときは、先を予想しながら自分で手を動かす。プリントの穴埋めをしたり、計算をどンドン進めたりする。もちろん、先生の指示を聞き逃さないように注意が必要です。
- ③ どちらの場合も、疑問が湧いたらその場で質問をする。全体で共有したほうがよい質問なら、先生は全体に説明します。個別に対応したほうがよいと考えた場合は、先生はそのように指示をします。いずれにせよ、判断できるのは先生ですから、分からないと感じたらとりあえず質問してしまう、というのが大事です。
- ④ 授業中にできなかった質問や、家で復習しているときに浮かんできた疑問は、次の授業後や、放課後に先生に直接質問しにいきましょう。疑問は、早めに解消していくことが重要です。

上にまとめたように、分からないときは理解重視で必死になる。分かっているときは、例えば解説に追いつかれない、のような目標を立ててひたすら手を動かす、というように、自分で自分がやることを決めて、実行していくことが大事です。

* 先生達は味方です *

分からないことは悪いことではなく、それをどうにかするために先生がいます。分からないことは分からないと教えてもらうほうが、先生も授業がしやすくなり、すべてうまくいきます。気軽に質問に来てください。